

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成24年7月13日
【四半期会計期間】	第88期第2四半期（自平成24年3月1日至平成24年5月31日）
【会社名】	サンケイ化学株式会社
【英訳名】	SANKEI CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福谷 明
【本店の所在の場所】	鹿児島市南栄2丁目9番地
【電話番号】	鹿児島（099）268-7588（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務本部長、九州事業所長 宮下 武久
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区上野7丁目6番11号（第一下谷ビル）
【電話番号】	東京（03）3845-7951（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務本部副本部長 福谷 理
【縦覧に供する場所】	サンケイ化学(株) 東京本社 （東京都台東区上野7丁目6番11号（第一下谷ビル）） 証券会員制法人 福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第2四半期連結 累計期間	第88期 第2四半期連結 累計期間	第87期
会計期間	自平成22年 12月1日 至平成23年 5月31日	自平成23年 12月1日 至平成24年 5月31日	自平成22年 12月1日 至平成23年 11月30日
売上高(千円)	3,688,089	3,575,331	6,471,278
経常利益(千円)	227,517	291,006	233,198
四半期(当期)純利益(千円)	134,666	155,350	85,643
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	134,097	147,592	75,337
純資産額(千円)	2,042,699	2,109,669	1,983,935
総資産額(千円)	6,598,292	6,733,114	5,677,880
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.76	15.88	8.75
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.31	30.60	34.00
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	569,949	247,512	73,124
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	58,806	37,712	239,528
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	536,703	415,508	201,601
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	792,193	1,049,726	919,442

回次	第87期 第2四半期連結 会計期間	第88期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 3月1日 至平成23年 5月31日	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.19	11.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第87期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより回復傾向が見られたものの、欧州債務危機などを背景とした海外経済減速や、長期化する円高、原油高等により景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

国内の農業に関しましては、農業就業者の高齢化・減少並びにT P P参加問題など依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、従来からの地域密着を基本に、食品由来物質による「サンクリスタル乳剤」、「ハッパ乳剤」、「ピオネクト」並びに水田のスクミリンゴガイ防除薬剤「スクミノン」等の独自剤を中心に、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業並びに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億75百万円（前年同期比1億12百万円、3.1%減）となりました。損益面では、営業利益は2億8百万円（前年同期比0百万円、0.0%減）、経常利益は保険解約返戻金の計上があり2億91百万円（前年同期比63百万円、27.9%増）となり、四半期純利益は1億55百万円（前年同期比20百万円、15.4%増）となりました。

#### (2) セグメント別の状況

当社グループの事業は単一セグメントであります。製品の用途別売上は次のとおりとなりました。

殺虫剤は、園芸用が減少し19億71百万円（前年同期比1億42百万円、6.8%減）、殺菌剤は園芸用が増加し5億円（前年同期比19百万円、4.1%増）、殺虫殺菌剤は園芸用が減少し2億70百万円（前年同期比19百万円、6.9%減）、除草剤は水稲用が減少し3億5百万円（前年同期比24百万円、7.5%減）、その他は園芸用が減少し2億78百万円（前年同期比5百万円、2.1%減）、農業外その他は防除事業並びに森林用資材が増加し2億48百万円（前年同期比61百万円、32.6%増）となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加し10億49百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億47百万円の減少（前年同期は5億69百万円の減少）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益2億90百万円、仕入債務の増加4億9百万円等の資金増加を、売上債権の増加8億52百万円、たな卸資産の増加93百万円等の資金減少が上回ったことによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、37百万円の減少（前年同期は58百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得38百万円等の資金減少によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億15百万円の増加（前年同期は5億36百万円の増加）となりました。

これは主に短期借入金の純増加額1億70百万円、長期借入金による4億円等の資金増加が、長期借入金の返済1億24百万円、配当金の支払19百万円等の資金減少を上回ったことによるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は1億9百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,197,000	10,197,000	福岡証券取引所	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 1,000株であります。
計	10,197,000	10,197,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日		10,197,000		664,500		295,451

(6) 【大株主の状況】

平成24年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
サンケイ化学取引先持株会	鹿児島市南栄2丁目9番地	1,277	12.52
住友化学株式会社	東京都中央区新川2丁目27-1	1,172	11.49
公益財団法人サンケイ科学振興財団	鹿児島市南栄2丁目9番地	1,060	10.40
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲1丁目2-1	446	4.37
株式会社鹿児島銀行	鹿児島市金生町6番6号	440	4.31
坪水 新平	千葉県八千代市	287	2.81
下津 春美	鹿児島県鹿児島市	259	2.53
福谷 明	鹿児島県鹿児島市	176	1.72
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1丁目13-2	171	1.67
サンケイ化学従業員持株会	鹿児島市南栄2丁目9番地	145	1.43
計	-	5,435	53.30

(注) 上記のほか、自己株式が413千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 413,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,656,000	9,656	-
単元未満株式	普通株式 128,000	-	-
発行済株式総数	10,197,000	-	-
総株主の議決権	-	9,656	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
サンケイ化学(株)	鹿児島市南栄2丁目9番地	413,000	-	413,000	4.06
計	-	413,000	-	413,000	4.06

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	執行役員 総務本部副本部長	常務取締役	執行役員 社長室長	福谷 理	平成24年 4月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人かごしま会計プロフェッションによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	919,442	1,049,726
受取手形及び売掛金	1,435,773	1,918,975
信託受益権	493,553	862,815
商品及び製品	875,835	978,985
仕掛品	53,514	42,949
原材料及び貯蔵品	258,812	259,635
繰延税金資産	53,997	69,667
その他	65,415	22,114
貸倒引当金	1,139	1,085
流動資産合計	4,155,206	5,203,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	274,319	274,037
機械装置及び運搬具(純額)	130,867	122,803
土地	316,622	316,622
リース資産(純額)	46,925	53,693
建設仮勘定	-	4,532
その他(純額)	39,405	37,152
有形固定資産合計	808,141	808,842
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	30,600	30,600
その他	6,601	6,149
無形固定資産合計	37,201	36,749
投資その他の資産		
投資有価証券	468,123	469,451
繰延税金資産	124,376	128,305
その他	100,305	100,381
貸倒引当金	15,475	14,400
投資その他の資産合計	677,331	683,738
固定資産合計	1,522,674	1,529,330
資産合計	5,677,880	6,733,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,246,239	1,661,396
短期借入金	670,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	197,600	266,936
リース債務	14,431	17,417
未払法人税等	33,742	151,979
賞与引当金	12,571	82,038
販売促進引当金	92,060	58,477
未払賞与	79,033	-
その他	241,632	191,714
流動負債合計	2,587,310	3,269,959
固定負債		
長期借入金	495,800	701,774
リース債務	35,014	39,075
退職給付引当金	329,338	354,972
役員退職慰労引当金	59,130	63,229
長期預り保証金	187,351	194,433
固定負債合計	1,106,635	1,353,486
負債合計	3,693,945	4,623,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	295,451	295,451
利益剰余金	979,444	1,115,225
自己株式	40,030	40,229
株主資本合計	1,899,365	2,034,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,121	25,255
その他の包括利益累計額合計	31,121	25,255
少数株主持分	53,448	49,466
純資産合計	1,983,935	2,109,669
負債純資産合計	5,677,880	6,733,114

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 2 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年12月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 5 月31日)
売上高	3,688,089	3,575,331
売上原価	2,731,564	2,591,909
売上総利益	956,524	983,422
販売費及び一般管理費	748,187	775,123
営業利益	208,337	208,298
営業外収益		
受取利息	665	98
受取配当金	1,577	2,811
持分法による投資利益	10,294	15,770
保険解約返戻金	-	55,923
その他	20,139	21,293
営業外収益合計	32,676	95,896
営業外費用		
支払利息	12,228	12,288
その他	1,268	900
営業外費用合計	13,497	13,188
経常利益	227,517	291,006
特別利益		
貸倒引当金戻入額	144	-
特別利益合計	144	-
特別損失		
固定資産除却損	239	221
ゴルフ会員権評価損	828	250
リース解約損	417	306
特別損失合計	1,485	778
税金等調整前四半期純利益	226,176	290,228
法人税、住民税及び事業税	117,612	149,010
法人税等調整額	19,659	12,189
法人税等合計	97,953	136,821
少数株主損益調整前四半期純利益	128,222	153,407
少数株主損失 ( )	6,443	1,943
四半期純利益	134,666	155,350

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	128,222	153,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,469	6,793
持分法適用会社に対する持分相当額	405	978
その他の包括利益合計	5,874	5,814
四半期包括利益	134,097	147,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,409	149,484
少数株主に係る四半期包括利益	6,312	1,892

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	226,176	290,228
減価償却費	59,967	57,967
退職給付引当金の増減額(は減少)	24,066	25,634
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,405	4,099
賞与引当金の増減額(は減少)	67,998	69,466
貸倒引当金の増減額(は減少)	277	20
その他の引当金の増減額(は減少)	44,776	33,583
受取利息及び受取配当金	2,243	2,910
支払利息	12,228	12,288
持分法による投資損益(は益)	10,294	15,770
売上債権の増減額(は増加)	1,172,393	852,463
たな卸資産の増減額(は増加)	90,837	93,408
仕入債務の増減額(は減少)	448,982	409,801
その他	107,885	82,383
小計	593,691	211,012
利息及び配当金の受取額	3,989	5,201
利息の支払額	13,723	12,197
法人税等の還付額	37,523	1,975
法人税等の支払額	4,047	31,479
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>569,949</b>	<b>247,512</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	58,077	38,820
投資有価証券の取得による支出	1,167	1,152
貸付けによる支出	284	-
貸付金の回収による収入	723	732
その他	-	1,528
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>58,806</b>	<b>37,712</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	130,000	170,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	70,200	124,690
ファイナンス・リース債務の返済による支出	7,804	7,927
自己株式の取得による支出	130	198
配当金の支払額	14,679	19,570
少数株主への配当金の支払額	482	965
その他	-	1,140
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>536,703</b>	<b>415,508</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	92,052	130,283
現金及び現金同等物の期首残高	884,245	919,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	792,193	1,049,726

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
従業員給料及び手当	168,780千円	167,579千円
賞与引当金繰入額	38,934	45,357
退職給付費用	22,929	20,343
役員退職慰労引当金繰入額	3,844	3,849
販売促進引当金繰入額	56,823	58,477
研究開発費	100,543	109,948
減価償却費	8,486	12,052

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
現金及び預金	792,193千円	1,049,726千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	792,193	1,049,726

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年2月24日 定時株主総会	普通株式	14,680	1.50	平成22年11月30日	平成23年2月25日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月23日 定時株主総会	普通株式	19,570	2.00	平成23年11月30日	平成24年2月24日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第15条の2第1項ただし書きの規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の当第2四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	13円76銭	15円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	134,666	155,350
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	134,666	155,350
普通株式の期中平均株式数(株)	9,785,464	9,784,224

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	
(固定資産の売却)	
当社は試験圃場を集約するため、金峰農園を同農園の一部を賃借中でありました企業に売却いたしました。	
(1) 当該事項の発生日	
平成23年12月16日 取締役会決議	
平成24年6月5日 契約締結および引渡	
(2) 売却資産の内容と損益に与える影響	
所在地	鹿児島県南さつま市金峰町大野字6685番 - 1 他17筆
	土地14,339㎡、建物105.99㎡、その他付帯設備
帳簿価額	19,963千円
売却価額	7,500千円
売却損	12,361千円
(3) 売却先の概要	
販売業を営む個人企業(所在地:鹿児島県南さつま市金峰町大野)であり、売却先の意向により開示を控えさせていただきます。	
なお、当社と売却先の間には、資本関係、人的関係および取引関係はありません。	
(第三者割当による自己株式処分)	
当社は平成24年6月7日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、自己株式の処分を以下のとおり実施しました。	
(1) 処分要領	
処分期日	平成24年6月22日
処分株式数	普通株式413,000株
処分価額	1株につき100円
資金調達の額	41,300千円
募集又は処分方法 (処分先)	第三者割当による処分 (クミアイ化学工業株式会社)
その他	該当事項はありません。
(2) 調達する資金の使途	
当該自己株式の処分により調達する資金は、クミアイ化学工業株式会社の第三者割当による自己株式処分を受け、同社株式の取得に充当しました。	
取得株式数	普通株式150,181株
取得価額	1株につき274円
取得総額	41,149千円
取得期日	平成24年6月22日

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月10日

サンケイ化学株式会社  
取締役会 御中

### 監査法人 かごしま会計プロフェッション

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 田畑 恒春 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 本田 親文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンケイ化学株式会社の平成23年12月1日から平成24年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンケイ化学株式会社及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLのデータ自体は含まれていません。